

ハワイ沖縄県系人関係資料を探す

沖縄県の海外移民は、1899年12月5日那覇港を発ち、1900年1月7日ハワイ・ホノルル港に到着した27名から始まった。その後、太平洋戦争が始まるまでに約2万人がハワイへ渡航し、現在ハワイ州に約4.5万人の県系人が暮らしている。ここでは、主要なハワイ県系人関係資料を紹介する。※【 】は、当館所蔵資料の請求記号

1. 事典・移民概要資料

『沖縄大百科事典』(沖縄大百科事典刊行事務局編、沖縄タイムス社、1983)【K03/O52】
上中下3巻・別巻からなり、約1万7000項目を収録。移民に関する項目、人物等も多数掲載あり。

『沖縄県史』別巻 沖縄近代史事典(沖縄県教育委員会編、出、1977)【K201/O52】
19世紀中葉から沖縄戦終結までの近代沖縄に関わる重要項目742件の解説を収録。「ハワイ移民」「當山久三」「平良新助」などの項目あり。

『沖縄県史 第7巻 各論編 6 (移民)』(沖縄県教育委員会編・刊 1974)
【K201/O52/7】
沖縄移民の総説、歴史、社会的背景、分布に加え、各論として各国・地域の移民状況を概説し、ハワイについても言及あり。

『日本移民の地理学的研究』(石川 友紀/著、榕樹書林、1997)【K334/I76】
沖縄から出移民総論のほか、ハワイにおける沖縄県移民略史、初期(1918年)の移民居住地、職業、旧首里市から移民などの分析あり。

『金武町史 第一巻移民・本編』(金武町史編さん委員会/編、金武町教育委員会、1996)
【K21.09/KI41/1-1】
金武町は、沖縄からハワイ移民を送り出すことに尽力した當山久三の出身地であり、また第2回ハワイ移民は全て金武村出身であったことから、移民開始初期の状況、第1回、第2回移民の動向などの詳述あり。

『名護市史 本編5 出稼ぎと移民(2)』(名護市史編さん委員会/編、名護市役所、2008)
【K21.01/N26/5-2】
名護出身ハワイ移民の記録に加え、県系・日系ハワイ移民の動向及びハワイの社会情勢などの紹介あり。

2. 図書目録

『「沖縄県立図書館所蔵資料にみる移民展」展示目録』(沖縄県立図書館編、私製、2016)
【K025/O52】

県立図書館の移民関係資料(908点)を地域別・内容別に整理した目録。「北米・ハワイ関係資料」「当山久三関係資料」「市町村史(誌)関係資料」などの項目あり。

『移民ビブリオグラフィー』(神 繁司、クロスカルチャー出版、2011)【R334.453/J52】
ハワイ・北米の日本人移民(沖縄関係含む)に関する国内外で出版された図書資料・所蔵機関等をまとめている基本的資料。外交資料、統計、文献・史資料目録・概説書・新聞・雑誌等に内容によって整理されている。この図書の原資料(論文)は、1997～2007年にかけて発表された「ハワイ・北米における日本人移民および日系人に関する資料について(1)～(5)」で、[国立国会図書館デジタルコレクション](https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3051396)で閲覧可能。<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3051396>

『The Japanese in Hawaii』(Mitsugu Matsuda、University Press of Hawaii、1975)
【334.476/Ma74】

ハワイの日本人移民・日系人(沖縄関係含む)に関する資料について、ハワイ大学図書館等に所蔵されている英語文献764タイトル、英文新聞・雑誌33タイトル、邦語文献378タイトルを収録した解題総合目録。

『ハワイの日本語新聞雑誌事典 1892-2000』(鈴木 啓著、マイルボックス LLC、2017)
【K02/SU96】

前半は、ハワイで出版された約260種の日本語新聞・雑誌の概要の紹介。後半は日本語新聞・雑誌に関連のある人物の事典となっている。県系人が発行した雑誌なども掲載有。

3. 渡航記録

<データベース>

[「沖縄県系移民 渡航記録データベース 1899-1941」](https://opl.okinawan-migration.com/)

<https://opl.okinawan-migration.com/>

このデータベースは、[沖縄県立図書館](#)、[ハワイ沖縄系図研究会](#)、[沖縄移民研究センター](#)が協働で開発した。1899年から1941年の間に、沖縄県から海外へ渡った沖縄県系移民の渡航記録約6万件を検索することができる。ハワイ、ブラジル、ペルー、フィリピンなど26か国・地域の渡航先を網羅している。収録されている渡航記録は、外務省外交史料館所蔵「外務省記録(海外旅券下付表)」から沖縄県に本籍がある移民を抽

出した記録等である。(詳細は下記<図書資料>参照)

氏名、移民国、生年月日(年齢)、性別、渡航日(旅券発行日)、戸主との関係、渡航目的、本籍地の検索が可能で、日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語の検索画面有り、同じ本籍地から移民した人を一括して表示することができる。

<図書資料>

- ・「沖縄県系移民 渡航記録データベース 1899-1941」に収録されている渡航記録
 - ☆『沖縄県史料 近代5 (移民名簿Ⅰ) [1899-1906年]』
 - ☆『沖縄県史料 近代6 (移民名簿Ⅱ) [1907-1911年]』
 - 『沖縄県史 資料編6 近代1 (移民会社取扱移民名簿) [1912-1918年]』
 - ☆『沖縄県史 資料編8 近代2 (自由移民名簿 [1908年-1920年])』
 - ☆『沖縄県史 資料編11 近代3 (移民会社取扱移民名簿 [1919-1926年])』
 - 『沖縄県史 資料編19 近代6 (自由移民名簿 [1921-1925年])』
 - ☆『外務省記録「海外旅券下付表」(1899-1941) ※未刊行分含む
 - 『[伯刺西爾行移民名簿 第77回-第306回\[1927-1941\]](#)』
- ☆はハワイ移民を含む資料

- ・『To Our Issei...Our Heartfelt Gratitude』 ※英語
(Okinawan Centennial Celebration Issei Commemorative Booklet Committee / [編]、[出]、[2000]) 【K334/O52/】
沖縄移民のはじまり、プランテーション生活、沖縄系(日系)二世兵の活躍、現在の県系人、ハワイオキナワ連合会など現在までの歴史を紹介。巻末に各市町村人会等から集められた一世の氏名、出生年、死亡年、移民年、出生市町村などのリストをアルファベット表記で収録。

4. 主要な図書<日本語>

『[布哇之沖縄縣人](#)』(山里 勇善 /編、実業之布哇社、1919) 【K334/Y48】

県系移民の歴史及び活動(農業、漁業、組合、教育等)をハワイの製糖業とともに紹介している。大部分が県人の人名録(一部人物紹介含む)となっており、1918年頃における約5千人の県系人の居住地等がわかる。HathiTrust Digital Libraryでオンライン閲覧可能。

<https://babel.hathitrust.org/cgi/pt?id=hvd.32044063928170&view=1up&seq=8>

『布哇沖縄縣人發展史』(加哇沖縄縣人聯合協會/編、発行、1941)

加哇沖縄縣人聯合協會創立20周年を記念して製作された図書だが、ハワイの沖縄県人全体の40年間に及ぶ歴史、並びに現在の各界での活躍状況を紹介している。

596名の人物紹介及び2500名を超える出身市町村別住所録を記載されている。原資料は、和歌山市民図書館が所蔵している。

『布哇沖縄県人写真帳』(比嘉 武信/著、上原松、1951)【K334/H55】

県系ハワイ移民50周年を記念して発刊された写真アルバム。約700人の県系人の家族写真に加え、氏名、出身地、居住地、電話番号、職業などが日英併記で紹介されている。

『移民は生きる』(比嘉 太郎 /著、日米時報社、1974)【K334/H55】

戦後の沖縄救援活動開始の経緯やハワイなどでの救援活動、ハワイにおける県系人の産業、琉球芸能など一世、二世の現地での活躍を紹介。約60名のハワイ在住県系人人物紹介も収録。

3. 主要な図書<海外で出版>

『UCHINANCHU A history of Okinawans in Hawaii』※英語

(Ethnic Studies Oral History Project、The United Okinawa Association、University of Hawaii、1990)【K299/U75/】

初期移民から1980年頃までの主に一世、二世の県系移民活動を様々な視点からまとめた英語論文集。プランテーション労働、社会進出、本土出身者との関係、県人会傘下の各市町村クラブ等の紹介などあり。

『To Our Issei...Our Heartfelt Gratitude』(再掲)※英語

(Okinawan Centennial Celebration Issei Commemorative Booklet Committee / [編]、[出]、[2000])【K334/O52/】

沖縄移民のはじまり、プランテーション生活、沖縄系(日系)二世兵の活躍、現在の県系人、ハワイオキナワ連合会など現在までの歴史を紹介。巻末に各市町村人会等から集められた一世の氏名、出生年、死亡年、移民年、出生市町村などのリストをアルファベット表記で収録。

<ハワイ在 県市町村字人会(クラブ)記念誌>

ハワイ沖縄連合会(Hawaii United Okinawa Association)は、主に移民一世時代に結成された各市町村字人会等の集合体である。各市町村字人会記念誌は、団体の設立経緯や歴代会長、活動内容に加え、会員家族の一世や家系図などを紹介している。

<中部>

- ・『創立参拾周年記念会報』(尾亜府具志川村人会/[編]、オアフ具志川村人会、1956)
【K334/O1】
- ・『PROUD TO BE...YOMITAN... KEEPING MEMORIES ALIVE』※英語
([YOMITAN CLUB/[編]、[出]]、1998)【K334/Y81】
- ・『Families of Chatan-Kadena Chojin Kai Hawaii』※英語
(Chatan-Kadena Chojin Kai/[編]、[出]、2011)【K334/C36】
- ・『FOOTPRINTS OF HAWAII'S TOMARI NAKAGUSUKU NISEI Tomari Doshikai
60th Anniversary 1939-1999』※英語
([Tomari Doshikai /編、出]、2001)【K334/TO49】
- ・『80th Anniversary Celebration Ginowan Shijin Kai-Hawaii』※英語
(ハワイ宜野湾市人会/[編]、[HAWAII OKINAWA CENTER]、[1992])【K334/H45】
- ・『Aza Gushikawa Doshi Kai Album[複製]』Gajimaru2000 ※英語
([Aza Gushikawa Doshi Kai/[編]、[沖縄県立図書館(製作)]、[2020])【K334/G11】
ハワイ字具志川同志会 73 周年記念誌

<南部>

- ・『布哇首里市人会拾周年記念誌』(田島 朝明/著、布哇首里市人会、1940)
【K334/TA26】
- ・『The legacy of the Hawai'i Shuri-Naha Club 2018』※英語
(The legacy book committee Hawaii Shuri-Naha Club members & families/[編]、
Hawaii Shuri-Naha Club、[2018])【K334/H45】
- ・『Tamagusuku CLUB HAWAII [複製]』ハワイ玉城クラブ 75 周年記念誌 ※英語
([Tamagusuku club hawaii/[編]、[沖縄県立図書館(製作)])【K334/Ta11】
- ・『OROKU AZAJIN HISTORY 90th Year(1923-2013)』※英語
([HAWAII UNITED OKINAWA ASSOCIATION/[編、出]、[2013])【K334/H45】

4. 新聞及び新聞記事目録

<沖縄で発行された新聞>

「新聞記事にみる明治期沖縄県における移民事象」『南島文化 第34号』

(石川 友紀、沖縄国際大学南島文化研究所、2012) 【K377/O52/34】

戦前の新聞収集・所在研究史に加え、沖縄県史・市町村史の「新聞集成」刊行状況を整理したうえで、『沖縄県史第19巻新聞集成(社会文化)』における明治期の沖縄県移民の新聞記事見出しの分析と重要な記事の翻刻・解説を行っている。石川は「大正期」「昭和前期」についても同様の論文があり、『植物標本より得られた近代沖縄の新聞』(沖縄県教育委員会、2007)の記事も含め分析を行っている。

『移民・出稼関係新聞記事目録(名護市史研究資料 23)』

(名護市史編さん室/編、出、1985) 【K/334/N26】

琉球新報(明治31年~大正7年)、沖縄毎日新聞(明治42年~大正3年)、大阪朝日新聞(昭和1年~昭和20年)の移民関連記事の約1,100件の見出しを収録した目録。

『移民・出稼ぎ関係新聞記事集成(具志川市史編集資料 12)』

(具志川市史編さん室/編、具志川市教育委員会、2002) 【K22.042/G96/12】

アジア・太平洋地域に焦点を当て、フィリピン・ニューカレドニア・南洋諸島・朝鮮・台湾・満州・海南島・本土出稼ぎ・その他、地域毎整理され、記事の翻刻もあり。

『移民に関する新聞記事』等『史料編集室紀要』(田港 朝和、沖縄県立図書館、1988-)

【K200.5/O52/】

紀要第13号、第16~19号にかけて、明治31年から明治42年までの琉球新報等主要な移民関係記事の翻刻。『沖縄県史 第19巻新聞集成(社会文化)』より収録数が多い。

『沖縄県史 第19巻新聞集成(社会文化)』(琉球政府 編、国書刊行会(復刻)、1989)

【K201/O52/19】

<ハワイで出版された新聞>

『新聞にみるハワイの沖縄人90年:戦前編』

『新聞にみるハワイの沖縄人90年:戦後編』(比嘉武信/[編著]、出、1990・1994)

【K334/H55】

戦前編は1900年~1941年、戦後編は1942年~1990年までのハワイの沖縄人に関する新聞記事を編纂している。主にハワイの邦字新聞2紙、日布時事(後に、ハワイタイムス)及び、布哇報知の記事を収録。

『ハワイ・パシフィックプレス』(仲嶺和男/編、出、1977-2020) 【K07/H45】

1977年11月創刊し、2020年12月廃刊。ホノルルで月1~2回発行していた邦字新聞。前半期は、沖縄県系人コミュニティーに関する記事を多く収録。

「[邦字新聞デジタル・コレクション](https://hojishinbun.hoover.org/?l=ja)」 <https://hojishinbun.hoover.org/?l=ja>

スタンフォード大学フーヴァー研究所が中心に提供する邦字新聞のオープンアク

沖縄県立図書館

調べ案内 No.12

令和5年3月（更新）

セスデジタル・コレクション。海外在住の日本人や日系人が発行した海外日系新聞を収録。ハワイ関係では「日布時事」、「実業之布哇」などが長期間に渡り閲覧可能。